

1

議席番号 4 番

楠元 由美子 議員

開始予定時間

9月12日 午前9時

【能満寺山公園周辺の整備について】

能満寺山公園周辺は、イベントがない時でも、特産品のうなぎを取り扱う飲食店に長蛇の列が見られ、小山城前広場や展望台小山城へと足を運ぶことも予想され、常に県内外の人が集まり賑わう、町が誇る観光スポットと実感しております。

トレーラーハウス型カフェと共に展開しているアンテナショップは、お店をもたない町内の事業者の魅惑のスポットとして展示販売が始まり3年を経った現在、更なる展開を期待される町民もいるのではと予想しております。

能満寺山公園内の環境整備は以前より整備されつつあり、観光スポットを紹介する案内看板が新たに設置され、インバウンドで訪れる外国人や町内で活躍される外国人にも優しい公園になってきました。今後も、さまざまな世代へ親しまれる公園への取り組みを期待しております。

今年度、高台部分の駐車場整備計画では、西側から入場が可能になり展望台小山城へのアクセスと来訪者の利便性向上が図られると期待しております。併せてこの西側入り口に設置されている吉田町郷土資料館の充実も今後必要と考えられます。現在は、日曜日・祝日のみの開館となっており夏休みやお正月に帰省される方々に入館できる機会が限られているのがとても残念です。また、この資料館内の空調設備は不十分であり、猛暑が続いた今年の夏は訪れた方々への配慮が行き届かなかったのではと心配しております。

以上を踏まえ、以下を質問します。

- (1) 3年経過したアンテナショップによる経済効果など、町はどのように感じているか。また今後の展開についての町の考えは。
- (2) 能満寺山公園内にて新たな憩いや安全（ベンチ増設、階段の照明など）への取り組み計画はあるか。また、小さなお子様からお年寄りはもちろん20代30代など若者にもっと親しまれる公園への新たな取り組みはあるか。
- (3) 展望台小山城また吉田町郷土資料館に更なる賑わいをもたらすための施設整備など新たな取り組みはあるか。

【L2地震に向けての液状化対策及び避難場所・避難所運営について】

本年元日に発生した令和6年能登半島地震では液状化が発生し、地割れや地盤沈下だけでなく、家屋の倒壊や側溝・マンホールの浮き上がりなど甚大な被害が発生しました。

吉田町に目を向けると、津波ハザードマップには「液状化マップ」が示されており、その説明として、「液状化マップとは、揺れやすきマップで示した震度となった場合に、水を十分に含んだ緩い砂地盤が強い地震で激しく揺すられた時に起こる地域の液状化の可能性を表したものです。液状化の可能性は、地盤の液状化の程度を表す指数（PL値）により判定しています。震源の位置や地震の規模が異なれば液状化が発生しない場合もあります。」と記載しています。そのマップを見れば、吉田町の平地はほぼPL値15以上で、「液状化危険度極めて高い」となっています。

一方、L2の千年に一度程度の大きな地震が発生した場合、迅速に避難場所指定及び避難所開設を行ない、円滑に運営する必要があります。

そこで、以下の点について質問する。

- (1) 吉田町地域防災計画地震対策編には、吉田町の液状化被害はL1、L2地震ともに最大全壊30棟、半壊100棟と記載されている。各々の棟数の根拠は。
- (2) 吉田町の液状化対策の進捗度は。
- (3) 液状化に関する知識の普及と液状化対策の必要性の周知の現状は。
- (4) 吉田町地域防災計画には、地震発生時の避難場所として、住吉区3カ所、川尻区6カ所、片岡区7カ所、北区7カ所、津波避難施設として津波避難タワーなど19カ所、避難所として、住吉区7カ所、川尻区3カ所、片岡区5カ所、北区5カ所が掲載されている。各地区の避難場所指定及び避難所開設について、各地区での順番は決められているか。
- (5) L2地震発生時の避難所開設及びその後の運営の担い手はどのような方々か。

3

議席番号 1 番

大石 裕之 議員

開始予定時間

9月12日 午前11時

【教育長が目指す教育について】

令和6年第2回吉田町議会定例会（6月議会）において、町長の行政報告が行われました。その中で教育関連の報告としては、実施から8年目を迎えた「吉田町教育元気物語 TCP トリビンスプラン」や文部科学省が展開する「リーディング DX スクール事業」、グーグル合同会社と連携して ICT に係る事業を展開する「Google for Education パートナー自治体」など、幾つもの行政報告がございました。

私は地域にとって子供たちの教育は、将来に渡り大変重要だとの思いから、今回の質問のテーマとして、それらの事業などを含めた教育関連の質問や議論をさせていただこうと準備を始めました。

そこでまず、教育長の教育に対する姿勢や考え方などを知りたいと考え、町のHPを調べてみましたが、明確なものは見当たりませんでした。また教育長が就任された令和2年4月1日以降の議会会議録も、一通り調べてみましたが、教育関連の質問は幾つも出されておりますが、残念ながらそういった議論は見つけることは出来ませんでした。

教育に係る事業には、「人」が最も重要で最大の要因であると考えます。町の教育を司る立場である教育長の教育に対する考え方などに触れ、今後、吉田町の子供たちのための教育を考える基礎としたいと考えています。

そこで、以下の点について、質問します。

- (1) 教育長が考える理想の教育とは。
- (2) 教育長の教育に取り組む基本姿勢は。
- (3) 教育長のこれまでの経験から見る、吉田町の子供たちの特長や評価は。
- (4) 吉田町の教育行政について、現時点での評価と課題は。
- (5) 今後の教育行政に対する取り組みや構想は。

【中学校の部活動について】

中学校の部活動、運動部の地域スポーツクラブへの移行について、令和5年9月の定例会において一般質問をしました。あれから1年が経過しました。この間に、中学校運動部の地域移行について、どのような進展があったのか注目するところです。中学校の運動部では、新チームになり秋の新人戦を行なっている運動部もあると思います。また、部活動には文化部もありこちらの方も教師の働き方改革による変化にも関心があり、再度、中学校の部活動について質問いたします。

- (1) 本年度の部活動の状況は。(加入生徒の数や、全校生徒に対する割合を含めて)
- (2) 現在、部員不足の運動部にはどのようなものがあるか。
- (3) 吉田町部活動の在り方協議会において、部活動の方向性はどの様に示されたか。
- (4) 吉田町部活動の在り方協議会において、活動する場所についてどう示されたか。
- (5) 吉田町部活動の在り方協議会において、活動費や各種大会への参加費等の補助金等についてどう示されたか。
- (6) 吉田町は近隣市と違い、中学校が1校しかないので、地域移行後の部員不足を補うために「複数校が合同で行う」ということができないが対応は。
- (7) 地域スポーツクラブは、中学校部活動として活動するのか、それとも中学校部活動とは無関係の状況になるのか。
- (8) 文化部においては、「学校の働き方改革」によって何らかの変化があったのか。

【南海トラフ地震臨時情報に対する対策および対応は】

1月1日午後4時10分最大震度7の能登半島地震の発生は記憶に新しいところである。突然の最大震度7の地震は東海地震への恐怖を強いものとした。

南海トラフで8月8日午後4時42分に日向灘を震源とする最大震度6弱の地震発生に対し、気象庁は南海トラフ地震が発生する可能性が平常時より高まっているとして、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」を出した。気象庁の対応は巨大地震に対して準備を促すものであると感じている。その後、神奈川県で、8月9日震度5弱の地震が、15日には震度4の地震が連続して発生した。この連続の中に東海、東南海、南海地震へ繋がる心配を大にしている。

最大震度7を記録した能登半島地震などから、今必要なことは何かを考えなければならない。

そこで質問する。

(1) 生活用水、飲料水について

- ① 南海トラフ地震臨時情報が発令された時点で、街の店舗から水が消えた。平成29年、第3回一般質問で「有事の際に住民等の生活を支える生活物資を滞りなく供給するための商業施設の誘致を行い誘致した企業と有事における『物資供給に関する協定』の締結を行うことにより・・・以下略。」と答弁があった。改めて『物資供給に関する協定』の具体的内容は。
- ② その協定による町民へのメリットは。
- ③ 巨大地震による上水の供給停止は必ず起こる。被害想定と供給計画は。
- ④ 断水時、給水車による水の給水場所など、ハザードマップなど地図上への情報提供はできないか。
- ⑤ 川尻の自噴式水汲み場の保存及び非常時の給水施設としての利用、また北区には同様な機能を持つ場所が2か所あると確認している。非常時の給水施設として利用する町の考えは。

(2) 各地区での避難所の役割のあり方と改善及び関連死について

- ① 北区・片岡区と住吉区・川尻区の避難所のあり方は時間とともに全く違った役割を持つと思う。避難場所の作成など具体的な対応はあるか。
- ② 資料には、能登半島地震での下水処理場の機能確保に1か月から4か月かかった経過が示されている。短期間で安価にできる浄化槽による処理を考えるべきであると思うが考えは。
- ③ 関連死については、ストレスが重要な要因であるとの情報もある。トイレや避難所のあり方に関連があると思うが、対策は。
- ④ 巨大地震における町自主防災会と対策本部の役割は。

6

議席番号 12 番

蒔田 昌代 議員

開始予定時間

9月12日 午後3時

【コミュニティ活動の支援について】

第6次吉田町総合計画前期基本計画の中の第4章「多様な人々が快適に暮らせるまちづくり」の中の「コミュニティ」の目指す状態として、「住民が積極的にコミュニティ活動に参加し、地域活動が自発的に進められているまち」と掲げられています。

その中の施策2コミュニティ活動の支援に、「コミュニティ活動団体が実施する備品購入及び地区集会所の建設等に対する支援」があります。「コミュニティ活動の充実・強化を図るため、様々な支援制度の活用によりコミュニティ活動に必要な備品整備や施設の建設などを支援していきます。」とあります。そこでコミュニティ活動の支援について以下質問します。

- (1) 分野の主な成果の指標においてコミュニティ活動支援件数(累計)の令和5年度の現状値は4件であるが、この内容はどのようなものか。
- (2) 令和9年度までの目標値は12件となっているが、施設の建設の支援は何件を見込んでいるか。
- (3) 施設の建設について、北区には大幡会館があるが、大幡会館建設委員会が設置されている。町は大幡会館建設委員会と施設の建設について話し合いを行なっているか。また、そのなかで、どのような意見があったか。